

授業科目	言語学				
担当者	松井 理直				
実務経験者の概要					
学科名	理学療法学専攻	学 年	2年	総単位数	2単位
	作業療法学専攻	開講時期	前期	選択・必修	選択

■ 内 容

医療ミスを引き起こす原因の1つとなる論理判断の錯誤について、言語学の立場から考察を行う。

■ 到達目標

医療現場におけるコミュニケーション・ミスについて理解を深めることを目標とする。

■ 授業計画

- 第1回 導入：医療ミスを引き起こす原因について
- 第2回 ことばと論理の関係 (1)：連言判断における過誤
- 第3回 ことばと論理の関係 (2)：選言判断における過誤
- 第4回 ことばと論理の関係 (3)：排他的選言をめぐる過誤
- 第5回 ことばと論理の関係 (4)：含意判断における過誤
- 第6回 ことばと論理の関係 (5)：「言い換え」とトートロジー
- 第7回 ことばと確率：医療診断におけるエビデンス
- 第8回 擬陽性問題について
- 第9回 前提確率から見た患者の立場と治療者の立場の違い
- 第10回 仮説と錯誤
- 第11回 第一種のエラーと第二種のエラー
- 第12回 統計学の基礎
- 第13回 有意水準と第一種のエラー
- 第14回 検定力と第二種のエラー
- 第15回 授業のまとめと到達度の確認

■ 評価方法

授業内に毎回行うミニテスト：50% 【科目試験(筆記試験)】50%
 小テストを含む試験時に不正な行為があったと認められた者については、規程に定める第16条を適用し、当該学期の全ての試験を無効とし、失格(留年)とする。

■ 授業時間外の学習(予習・復習等)について

基本的に授業中に全て理解することを目標とするが、復習に必要な時間として50分程度を目安とする。予習に関しては、特に必要としない。なお、授業内容に関しては教科書を用いず、適宜プリントを配布する。

■ 教科書

■ 参考図書

■ 留意事項

復習をきちんと行い、次回の授業までに全ての内容を理解できるようにしておくこと。

■ 講義受講にあたって

選択科目であるため、内容に十分に興味を持っていることを前提として授業を行う。本授業を選択するかどうかを決める際に、ものごとを論理的に判断することが要求され、国語の能力とともに、数学の能力が要求される点に十分留意されたい。